

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

徳島県 三好市

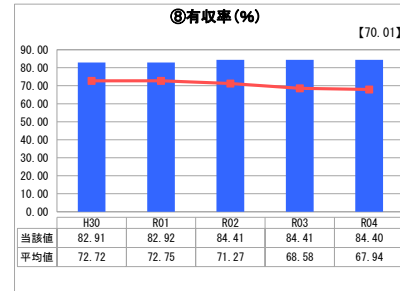
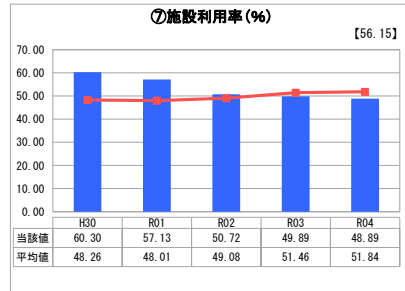
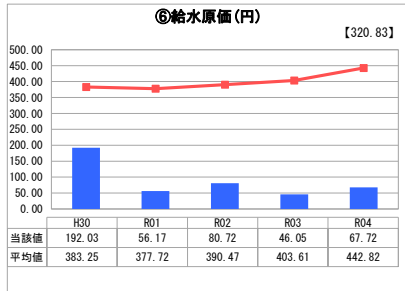
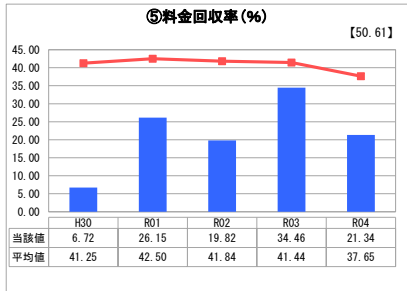
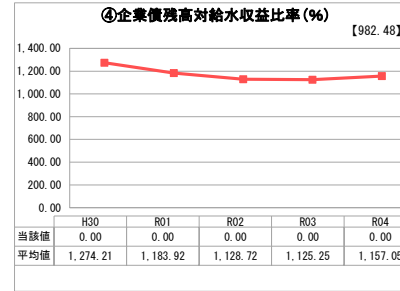
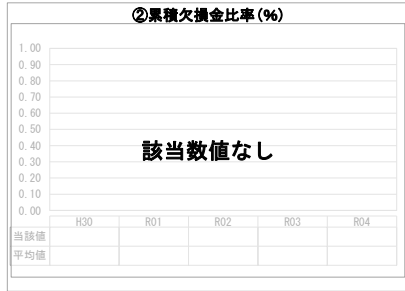
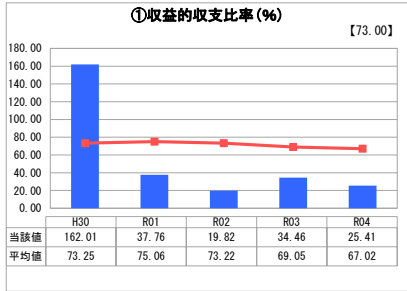
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	53.45	550	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
23,530	721.42	32.62
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
62	0.40	155.00

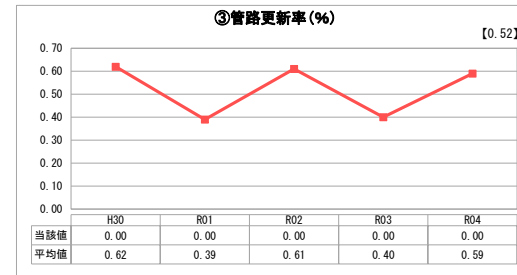
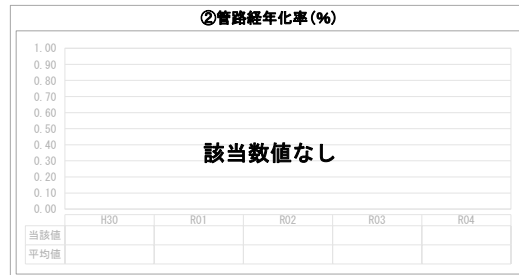
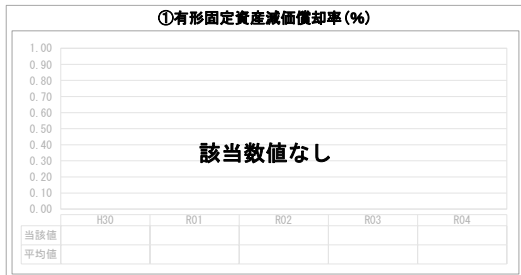
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

山間部に位置する給水人口が62人の簡易水道である。今後さらなる給水人口・給水戸数の減少が見込まれる。計算上では繰越金が数年後には枯渇し、経営はかなり厳しい状況にある。東祖谷地域の簡易水道であるため、マンパワー不足もあり、現在は委託での管理を行っているが、効率性・将来性共に乏しい状況にある。

### 2. 老朽化の状況について

毎年小規模の修繕を行っているが、経営的な観点や左記料金回収率から見ても、今後大きな資本を投下し更新を行うことは難しい状況にある。

### 全体総括

施設・管路共に老朽化が見られるが、多額の資本投下に見合うだけの給水収益は到底見込めない。他の上水道地域からも遠く離れており、簡易水道の基準給水人口も大きく下回っているため、上水道への併合ではなく、地元管理の水道へ移管することが現実的であると考えられる。